自己紹介アプリ開発

目に留まるポートフォリオ

Ver 1.0.0

秋田　祐、最終更新日2024/5/7

なお、当該フォームは  
<https://qiita.com/syantien/items/9a8a7cbaeca2be3ef0d7>

を使用している。

内容

[自己紹介アプリ開発 1](#_Toc166155078)

[目に留まるポートフォリオ 1](#_Toc166155079)

[1. システム概要 4](#_Toc166155080)

[B) システム構成図 4](#_Toc166155081)

[C) 背景 4](#_Toc166155082)

[D) 定義 5](#_Toc166155083)

[2. 業務要件 6](#_Toc166155084)

[A) 業務フロー 6](#_Toc166155085)

[B) 規模 6](#_Toc166155086)

[C) 時期・時間 6](#_Toc166155087)

[D) 指標 6](#_Toc166155088)

[E) 範囲 6](#_Toc166155089)

[3. 機能要件 7](#_Toc166155090)

[A) 機能 7](#_Toc166155091)

[B) 画面 7](#_Toc166155092)

[C) 情報・データログ 7](#_Toc166155093)

[D) 外部インターフェイス 7](#_Toc166155094)

[4. 非機能要件 8](#_Toc166155095)

[A) ユーザービリティ及びアクセシビリティ 8](#_Toc166155096)

[B) システム方式 8](#_Toc166155097)

[C) 規模 8](#_Toc166155098)

[D) 性能 8](#_Toc166155099)

[E) 信頼性 8](#_Toc166155100)

[F) 拡張性 8](#_Toc166155101)

[G) 上位互換性 8](#_Toc166155102)

[H) 継続性 8](#_Toc166155103)

[5. セキュリティ要件 10](#_Toc166155104)

[A) 情報セキュリティ 10](#_Toc166155105)

[B) 稼働環境 10](#_Toc166155106)

[C) テスト 10](#_Toc166155107)

[6. 移行要件 12](#_Toc166155108)

[A) 移行 12](#_Toc166155109)

[B) 引継ぎ 12](#_Toc166155110)

[7. 運用要件 12](#_Toc166155111)

[A) 教育 12](#_Toc166155112)

[B) 運用 12](#_Toc166155113)

[C) 保守 12](#_Toc166155114)

[8. ドキュメント更新履歴 12](#_Toc166155115)

# システム概要

・現在、就職活動中であることを踏まえ自身のポートフォリオを作成し、だれが見ても分かりやすい成果物のリストを作ることは急務となっている。

　・就職活動自体は既に開始しており、目度として３か月程度以内に採用されることを目指している。

　・制作物は主にGitHub上に保存し、成果物のダウンロードも可能となるようにしたい。

　・Qiitaの自身ページへのリンクを用意し、記事として作成したものを参照できるようにしたい。

　・本プログラムが動的プロジェクトであることを認識してもらいたい。

　・掲載する成果物の種類は以下の通り。

* + 1. 成果物（VBA）
    2. 成果物（Servlet＆JSP）
    3. 成果物（PYTHON）
    4. 成果物（CSS, JavaScript）
    5. 記事（Qiita）
    6. 資格（Certificate）

# システム構成図

制作物ページ

【Index】

制作物リンク集

制作物入力ページ

管理者用

ログイン

ページ

true

※false→ログインページへ戻る

# 背景

・現在４２歳であり、異業種への転職は困難を極めると予想される。

・少しでも採用の可能性を上げるためにも、また採用側とのミスマッチを防ぐためにも自身の詳細な情報を提供するよう心掛けたい。

・また学習した内容を都度アウトプットすることで、自身の知識の定着にも役に立つことから、「学習→アウトプット（制作）→ポートフォリオ拡充→改善→学習（戻る）」といったPDCAサイクルを回すことに役に立つ。

# 定義

* + 1. 成果物とは以下を指す。
       1. 成果物（VBA）
       2. 成果物（Servlet＆JSP）
       3. 成果物（PYTHON）
       4. 成果物（CSS,JavaScript）
       5. 記事（Article）
       6. 証明書 (Certificate)

# 業務要件

# 業務フロー

２週間に１本、年間25本程度の成果物登録

1. へ

# 規模

制作者自身による運用のみ想定している。

# 時期・時間

開発期間　５月７日（火）　～　５月１４日（火）

とぴあITスクールへの提出　５月１５日（水）

# 指標

開発後はコードの改変は基本行われないまま、成果物の登録を行うことができる。

# 範囲

このシステムが関する範囲を記載します。

【後日入力】

# 機能要件

# 機能

* + 1. 管理者ログイン機能
       1. 管理者は自身１名を指すため、データベースを使用しない。

（ただし今後の拡張性のため、Userクラスは残している）

* + 1. 管理者ログアウト機能
    2. 成果物表示機能

※成果物の定義については１－D参照

* + 1. いいね機能

# 画面

[別紙（０４画面遷移図）参照]

# 情報・データログ

収集するデータ

1. 種別
2. 主機能
3. リンク先
4. 開発完了日
5. 開発期間
6. いいね数

収集するログ

【後日検討】

# 外部インターフェイス

当システムからのリンクを積極的に活用する。

1. GitHub（種別：ファイル、アプリケーション）
2. Qiita（種別：記事）
3. 自身のwebサーバ（さくらのVPS）

# 非機能要件

# ユーザービリティ及びアクセシビリティ

使用者が管理者本人に限られるが、メインページであるMain.jspは不特定多数が閲覧する画面となる。一方でメインページの訪問者数についても、最大で２０名程度/時を想定している。

# システム方式

[別紙（０5クラス図）参照]

# 規模

利用規模：最大２０人想定

管理者；１名

# 性能

【後日入力】

# 信頼性

【後日入力】

# 拡張性

* + 1. 制作物削除機能（Deleteメソッドの追加）
    2. ページ増加機能（実績が一定数溜まったら）
    3. 管理者追加機能（管理者DBの追加）
    4. Android iOSといったスマホ用画面の検討

# 上位互換性

互換性のあるシステムの範囲を記載します。

（後日入力）

# 継続性

・システムダウンリスクについては以下の通り。

* + 1. さくらのVPSサーバがダウンした場合
    2. 想定を超える来訪者数があった場合
    3. データベースが容量を超えた場合

・それぞれのリスク対応は以下の通りとする。

1. さくらのVPSサーバダウン対応として、再稼働マニュアルの整備（Qiitaへの投稿マニュアルで対応する）
2. 同時PV数に応じて制限がある可能性があるものの、当面考慮する必要はない。
3. テキストデータ中心のため、こちらも当面考慮する必要はない。

以上より、継続性は極めて高いものと判断する。

# セキュリティ要件

# 情報セキュリティ

下記を記載

* アクセス制御方法
* アクセス認証方法
* データの暗号化

さくらのVPS内でアプリケーションが完結する。

デプロイはTera Term５を用いて、ssh方式によるアクセスを実施。

* ウィルス対策

さくらのVPS内でウィルス対策を実施。

Firewalld、[SiteGuard Lite](https://knowledge.sakura.ad.jp/12348/)を実施。

* 修正ソフトウェア
* 侵入・攻撃対策

さくらのVPS内でウィルス対策を実施。

Firewalld、SiteGuard Liteを実施。

* その他利用制限

Rootによるアクセス不可（後日対応）

* 不正接続対策
* 外部媒体保存制限（運用ポリシー）

# 稼働環境

Google Chrome、Windows Edgeを想定している。iOSやAndroidへの対応は後日。

# テスト

実行するテストタイプに関して、機能テスト、ユーザビリティテスト、負荷テスト、セキュリティテストなど記載します。

実行予定のテストは以下の通り

1. テスト環境：実機を用いてテスト
2. 担当者：制作者自身
3. 以下テスト用のCSVファイルの用意
4. 以下のテスト項目を実施

・必須確認（全体または部分的に空欄でも通るのか）

・桁数確認（データ型の最大値を探る）

・文字種確認（データ型以外のデータで入力）

・境界値テスト

・使用を想定したテスト

# 移行要件

移行が伴う場合はここに記載：

【今回はなし】

# 移行

# 引継ぎ

# 運用要件

【今回はなし】

# 教育

とぴあITスクールで学んだことを中心に、補足すべき部分は独学にて行う。

# 運用

基本的にレンタルサーバを用いているため、常時アクセス可能である。

今後拡張を検討する際には、同サーバ内に別アプリとしてデプロイ（selfIntroduce2等命名）し、テスト実施後にeclipse内でリファクタリング（プロジェクト名変更）し入れ替えを行うことでダウンタイムを最小化することが可能。

# 保守

個人使用のため定期的な保守は不要。

不測の事態に備え、バックアップをローカルPCに保管しておく。

# ドキュメント更新履歴

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| バージョン | 日付・時刻 | 更新者 | 内容 |
| 1.0.0 | 2024/5/7 21:00 | 秋田 | 初回 |
| 1.0.1 | 2024/5/9 14:00 | 秋田 | クラス図追加他 |